談 話 室

第 24 回表面科学講演大会報告

福 井 賢 一*

東京工業大学大学院理工学研究科
〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-W4-10

(2004 年 11 月 30 日受理)

Report on the 24th Annual Meeting of
the Surface Science Society of Japan

Ken-ichi FUKUI*

Graduate School of Science and Engineering,
Tokyo Institute of Technology,
2-12-1 Ookayama, Meguro-ku, Tokyo 152-8550

(Received November 30, 2004)

第 24 回表面科学講演大会は、2004 年 11 月 8 日（月）より 10 日（水）までの 3 日間、早稲田大学総合学術センターで開催されました。今回の講演大会は、一般講演件数（199 件、全体の講演件数は 227 件）、参加人数（421 名）とも過去最高となり、各会場も連日、予備椅子が必要となるほどの盛況ぶりでした。ご参加ありがとうございました。

1 日目（11/8）は、午前中に学会員からの公募による「界面非線形分光のフロンティア」、「放射光を利用した光電子顕微鏡の新展開」、「電極表面科学～溶液中でのナノテクノロジー」の 3 件のシンポジウムセッションをパラレルで開催し、その時点で参加者は 130 名ほどでした。午後は 1F ロビーが人で溢れるほど活気のあるポスターセッションの後、井深記念ホールにおいて論文賞、会誌賞、奨励賞、技術賞の表彰式、引き続いて本年の学会賞を受賞された青野正和先生、森田清三先生の受賞記念講演、飯島澄男先生の特別講演が行われました。井深ホールでの講演ばかりでなく、その後に行われた懇親会にも多数の参加を頂き、特に若い方が多く例年になく活気があったのが印象的でした。

2 日目（11/9）は一般講演が中心でしたが、今年度より発足した 2 つの研究部会の中の 1 つ、「ソフトナノテクノロジー」の研究部会セッションが午前中に行われました。私の理解するところでは、研究部会は表面科学会として表面科学が関わる学問的広がりや再認識し、分野の活性化を行うための新しい位置づけの組織で、来年度はさらに複数の部会が設立される予定のようです。今

回はこのセッションとある程度リンクさせる目的で、自己集合・自己組織化や表面ナノバイオサイエンスといったソフトマテリアルを扱うセッションを近い時間帯に集め議論を行っていただきました。

最終日（11/10）もやはり一般講演が中心でしたが、招待講演や 1 日目に表彰式があった各賞受賞者による受賞記念講演等を分散して配置し、最後の講演まで各会場で議論が行われておりました。

この第 24 回講演大会は、ホームページ、メーリングリスト、本誌綴じ込みチラシや講演大会特集号の巻頭言においてお知らせしてまいりましたように、3 つの主な改革点を設定して取り組んできました。1 点目は、講演募集分類（13 分類）を新たに設定し、表面科学と重要な関連をもつ諸問題の討論を行うこと、2 点目は、科学技術振興機構の J-STAGE を用いた講演募集、講演概要・要旨の公開を行うこと、3 点目は、若手研究者および学生を対象とした新しい講演奨励賞制度を設けることです。1 日目については、従来の講演大会で中心的に議論されてきたようなトピックス以外にもナノ材料、ナノバイオサイエンス、電極/燃料電池/環境/エネルギーなど表面科学と密接に関連するトピックスを取り上げ、それぞれの分野で活躍中の先生方に招待講演をお願い致しました。まだまだ認知度が十分ではなく、今後さらに講演数を増加する努力が必要ですが、上記の研究部会セッションやシンポジウムセッションとある程度連携がはかれたのではないかと思います。2 日目については、J-STAGE の Web サイト (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/sssaj/>) において予稿集 (PDF) を講演大会初日より公開しています。将来の e-JSSNT 誌との連携などを想定しつつ、今後このサイトに講演大会の情報が積み重ねられますのでご活用ください。3 日目についても、従来の学生奨励賞に変わる制度として導入し、しっかりと興味深い発表がなされておりました。今後の学会を支える力として期待したいと思います。特に若手研究者分野の発表時間が必ずしも十分でないなど反省点もあり、来年度以降の課題としたいと思います。

以上のように、本学会員の皆様のご協力により、今回の講演大会は改革元年にふさわしい盛り上がりがあったと思います。皆様ご承知のように、来年度は本学会の 25 周年記念として International Symposium on Surface Science and Nanotechnology (ISSS-4) が 2005 年 11 月 14 日～17 日の日程で大宮ソニックシティにて開催されます。第 25 回講演大会はそれに引き続き 17 日（木）午後より 19 日（土）まで同会場で開催する予定で、講演大会委員会を中心として準備を進めております。今回の盛り up を来年度以降も継続して行き、本学会や表面科学分野の発展へつなげてゆけるよう、努力して参りたいと思いますので、今後とも是非ご協力をお願いいたします。

E-mail: kfukui@chem.titech.ac.jp

* 2004 年度 講演大会委員長